

第5回「情報とシステムの視点からみた組織と社会」研究会 開催報告

研究会主査 川野喜一

■開催日時 2013年6月27日(木) 18:30~20:30

■開催場所 法政大学 市ヶ谷キャンパス 市谷田町校舎 T413 教室

■出席者 15名

■開催概要

昨今、位置情報とICT、オープンデータを活用した様々なサービスが提供されている。

宇宙システム、ユビキタスシステム、コミュニティシステム、防災システムなど社会技術システムのデザインとマネジメントをご専門の神武先生に、宇宙インフラやビッグデータを活用したシステムのデザインと、その人材育成についてご講演いただいた。

■講演題目及び講演者

「宇宙インフラやビッグデータを用いたシステムデザインと人材育成」

神武 直彦(こうたけ なおひこ)

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授

■講演概要

1. 慶應SDM(システムデザイン・マネジメント研究科)の紹介

2. 研究・教育プロジェクト

(1)衛星からの広域同報小容量データを利用したリアルタイム防災ソリューションの構築

・宇宙インフラ : 米GPS、日QZSS(準天頂衛星)、露GLONASS、欧Galileoなどの
全地球航法衛星システム(GNSS/Global Navigation Satellite System)の位置情報
の活用

・地域に応じた適切な防災メッセージのサービス

(2)屋内外シームレス測位システム

・屋内版GNSS : IMES(Indoor Messaging System)

・位置検知センサや共有データを活用した様々な位置情報サービス

(3)安全安心を主体的に創るコミュニティデザイン

・オープンデータと地域活性

・利用者参加型ソーシャルシステム

・位置ログデータの可視化・利用と個人情報の問題

(4)宇宙インフラ活用人材の育成

・大学連携国際教育(G-SPASE)プログラム(慶應SDM、東大、東京海洋大)

《関連リンク》

Location Business Japan 2013

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/column/chizu/20130620_604448.html

日本発・宇宙インフラ事業をアジアに、14兆円市場にらみ産学官が連携

http://www.nikkei.com/news/print-article/?R_FLG=0&bf=0&ng=DGXBZ054573850R00C13A500000&uah=DF151220092010

次世代GPS、屋内も死角無し 売り場を丁寧に案内

<http://www.nikkei.com/article/DGXZZ037614680X21C11A2000000/>

■質疑(ディスカッション)

・参加者から、位置情報/オープンデータの活用によるサービスへの期待の声や、社会のコンセンサスの必要性、地域活性化事例における個人情報とインセンティブの問題、知財ルールなどの問題提起があった。

以上